

CLOUD SERVICE  
C3 Portal

このマニュアルでは、C3 Portalを使用するために必要なセットアップ、およびC3 Portalとニュースルームコンピューターシステム（NRCS）を接続するために必要なNRCS Gateway Server App（PWA-NRCS01）のセットアップについて説明します。

必要に応じて、関連する他の機器の取扱説明書も併せてお読みください。

**本書内の表記について**

PWS-110RX1A/PWA-RX1を「RX」と表記します。

Connection Control Managerを「CCM」と表記します。

**操作方法について**

C3 Portalの操作方法については、ヘルプガイド（操作編）をご覧ください。

URL : <https://helpguide.sony.net/pro/c3p/v1/ja/index.html>

サービスで使用するCreators' App for enterprise（以降、「モバイルApp」と言います）の操作方法については、Creators' App for enterpriseのヘルプガイドをご覧ください。

URL : [https://helpguide.sony.net/promobile/c3p\\_app/v1/ja/index.html](https://helpguide.sony.net/promobile/c3p_app/v1/ja/index.html)

## 概要

[セットアップの流れ](#)[「設定」画面の構成](#)

## セットアップ

## システムとユーザーの設定

[システムの設定](#)[プロジェクト／ワークグループの登録とユーザーの設定](#)[機器用のユーザーの登録](#)

## トランスミッター（TX）／エンコーダー／SRTリスナーの設定

[トランスミッター（TX）の登録](#)[エンコーダーの登録](#)[SRTリスナーの登録](#)

## レシーバー（RX）の設定

[局内ネットワークの設定](#)[RXの設定の流れ](#)[RXのアップデート](#)

[C3 PortalへのRXの登録](#)

[動作テスト](#)

## 接続ソフトウェアの設定（NRCS Gateway Server App）

[C3 PortalへのNRCSの登録](#)

[NRCS Gateway Server Appの動作環境](#)

[NRCS Gateway Server Appの初期設定](#)

## C3 Portalを利用するための設定

[プランニングインターフェースの登録](#)

[Call Sheetへのタグ登録](#)

[ストーリーメタデータの設定](#)

[アセットメタデータの設定](#)

[ウォーターマークの作成](#)

[ソニーCiの設定](#)

[S3バケットの設定](#)

[インジェストサーバーの設定](#)

[Webhookの設定](#)

[FTPサーバーの設定](#)

[アップロードの設定](#)

[クラウド収録の設定](#)

[位置情報の設定](#)

[Creators' App for enterpriseの設定](#)

## 付録

[ライセンス](#)

[操作編へ](#)

## セットアップの流れ

本サービスを使用するには、以下の順序でセットアップを行います。

### 1 ユーザーとグループを登録する。

IDM（ソニーProfessional ID Management）でユーザーとグループを登録します。  
登録方法について詳しくは、IDMのヘルプガイドをご覧ください。

### 2 グループとユーザーを設定する。

手順1で登録したユーザーが所属するプロジェクトとワークグループを決定します。また、プロジェクト／ワークグループごとにユーザーの権限を設定します。  
詳しくは、「プロジェクト／ワークグループの登録とユーザーの設定」をご覧ください。

### 3 モバイルAppでC3 Portalに接続する。

詳しくは、モバイルAppのヘルプガイドをご覧ください。

以下のセットアップは、アプリケーション管理者（App Admin）の権限が設定されたユーザーが行います。

### 4 機器用のユーザーを登録する。

トランスミッターおよびレシーバーがC3 Portalに接続する際に使用する認証用のユーザーを登録します。  
詳しくは、「機器用のユーザーの登録」をご覧ください。

### 5 トランスミッター（TX）を登録する。

トランスミッター（ワイヤレスアダプターCBK-WA100/101を接続したカムコーダー、ワイヤレス機能を搭載したカムコーダー、またはXDCAM pocket）をC3 Portalに登録します。

#### ご注意

- 本サービスにモバイルAppを使って接続する場合と、ネットワーククライアントモードで接続する場合で登録方法が異なります。

詳しくは、「トランスミッター（TX）の登録」をご覧ください。

### 6 カムコーダー、ワイヤレスアダプター、XDCAM pocketの設定を行う。

各カムコーダー、ワイヤレスアダプター、XDCAM pocketで、C3 Portalと接続するための設定を行います。  
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

### 7 ストリームレシーバー（RX）の設定を行う。

C3 Portalと接続するためのStreaming Receiver AppソフトウェアをRXにインストールし、設定を行います。  
詳しくは、PWS-110RX1A/PWA-RX1のオペレーションマニュアルをご覧ください。

### 8 ストリームレシーバー（RX）の設定を変更し、C3 Portalに登録する。

## 1. 局内ネットワークを設定する。

- ネットワークの構成
- ポートの開放
- ポートフォワード（NAPT）設定
- テナントの設定

## 2. RXの設定を行う。

詳しくは、PWS-110RX1A/PWA-RX1のオペレーションマニュアルをご覧ください。

## 3. RX をアップデートする。

- RXアプリケーションとCCM のアップデート
- インターカムドライバーのインストール

## 4. C3 PortalにRXを登録する。

- C3 Portalのセットアップ
- RXの登録と設定

## 5. 動作テストを行う。

- TXの接続登録
- TXストリーミングの動作確認
- マルチポイント配信の動作確認
- インターカムの動作確認

詳しくは、「レシーバー（RX）の設定」内の各ページ、およびPWS-110RX1A/PWA-RX1のオペレーションマニュアルをご覧ください。

## 9 インターカムの設定を行う。

通信に使用するストリームレシーバーのチャンネルをカムコーダーと関連付けます。

詳しくは、「トランスミッター（TX）の登録」をご覧ください。

## 10 システムの設定を行う。

C3 Portalアプリケーションの初期設定、自動アサイン機能使用時の出力先の選択を行います。

詳しくは、「システムの設定」をご覧ください。

## 11 プランニングインターフェースを登録する。

プランニングインターフェースをC3 Portalに登録します。

また、プランニングインターフェースから受信する収録予定情報と、カムコーダーおよびワイヤレスアダプターに送信するストーリーとのマッピングを行います。

詳しくは、「プランニングインターフェースの登録」をご覧ください。

## 12 C3 Portalで使用するPWA-NRCS01 NRCS GatewayAppソフトウェアの設定を行う。

C3 Portalとネットワークタイプのプランニングインターフェース（ニュースルームコンピューターシステム（NRCS））でデータを送受信するために必要な、NRCS Gateway Server Appソフトウェアのインストールと設定を行います。

詳しくは、「接続ソフトウェアの設定（NRCS Gateway Server App）」内の各ページをご覧ください。

## 13 メタデータを設定する。

「アセット」画面に表示するメタデータの項目を設定します。

詳しくは、「ストーリーメタデータの設定」をご覧ください。

**14 インジェストサーバーの設定を行う。**

プロキシファイルをC3 Portalにインジェストするための設定を行います。  
詳しくは、「インジェストサーバーの設定」をご覧ください。

**15 ウォーターマークを作成する。**

SNSのキャスト中とストーリーボードのエクスポート時に挿入されるウォーターマークを作成します。  
詳しくは、「ウォーターマークの作成」をご覧ください。

**16 アップロード設定を行う。**

カムコーダーのアップロード機能を使用してC3 Portalにアセットを登録するためのアップロード設定を行います。  
詳しくは、「アップロードの設定」をご覧ください。

**17 FTPサーバーを設定する。**

カムコーダーからのファイルの転送とビンからのアセットの転送に使用するFTPサーバーを設定します。  
詳しくは、「FTPサーバーの設定」をご覧ください。

**18 Sony Ciを設定する。**

ビンからアセットを転送するためのSony Ciの設定を行います。  
詳しくは、「Sony Ciの設定」をご覧ください。

**19 S3バケットを設定する。**

ビンからアセットを転送するためのS3バケットの設定を行います。  
詳しくは、「S3バケットの設定」をご覧ください。

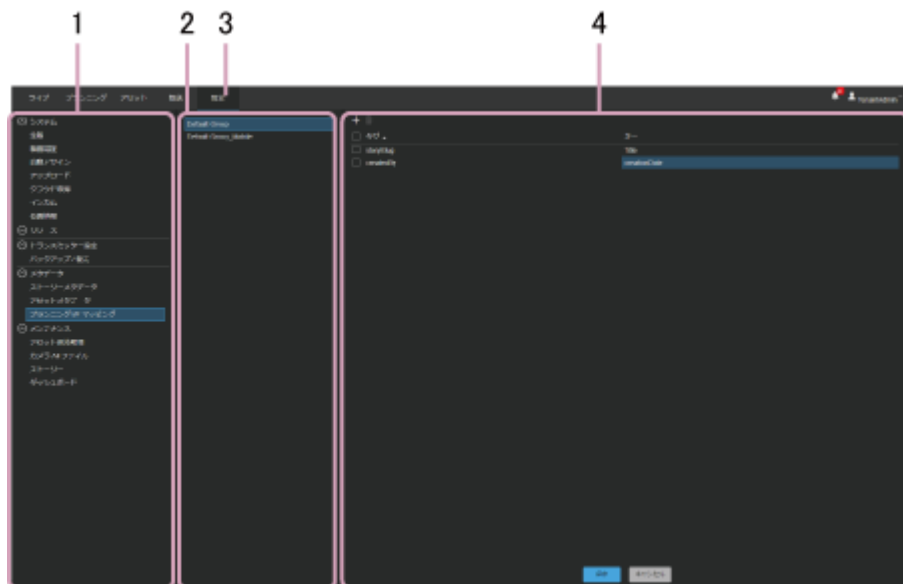
**20 ライブ記録の設定を行う。**

ストリームをファイルに記録するための設定を行います。  
詳しくは、「ライブ記録の設定」をご覧ください。

## 【設定】画面の構成

【設定】画面の基本構成について説明します。

【設定】画面は、システム管理者がサインインして【設定】ボタンをクリックすると表示されます。



### 1 メニュー

設定したい項目があるメニューを選択します。

### 2 サブメニュー

選択したメニュー内で設定したい項目を選択します。選択したメニューによっては、サブメニューが表示されない場合があります。

### 3 【設定】ボタン

クリックすると、【設定】画面が表示されます。

### 4 設定エリア

設定項目が表示されます。

## メニューの構成

### 【システム】

メニュー名	内容
[全般]	タイムゾーン、ドラッグ&ドロップの動作、操作の優先度、強制ストリーミング、自動ストリーミングの設定を行います。
[機器認証]	機器をC3 Portalと接続するためのユーザー名とパスワードを登録します。
[自動アサイン]	XDCAM pocketが接続できるポートを自動的に割り当てます。
[アップロード]	コンテンツをサーバーにアップロードするための設定を行います。

メニュー名	内容
〔クラウド収録〕	ストリームをファイルに記録するための設定を行います。
〔インカム〕	インターカムを使用して通信するカムコーダーとPWS-110RX1A/PWA-RX1の関連付けを行います。
〔位置情報〕	カメラとアセットの位置情報に関する設定を行います。

## 〔リソース〕

メニュー名	内容
〔グループ〕	プロジェクト／ワークグループを追加、編集、削除するために使用します。また、プロジェクト／ワークグループに割り当てられたリソースを表示します。
〔ユーザー〕	ユーザーごとに、所属するプロジェクト／ワークグループと権限の設定を行います。
〔Creators' App for enterprise〕	モバイルAppの修正、削除を行います。
〔トランスミッター〕	トランスミッターの登録、修正、削除を行います。
〔SRTリスナー〕	SRTストリーミング用のリスナーの登録、修正、削除を行います。
〔エンコーダー〕	エンコーダーの登録、修正、削除を行います。
〔レシーバー〕	ストリームレシーバーの登録、修正、削除を行います。
〔プランニングI/F〕	プランニングインターフェースの登録、修正、削除を行います。
〔FTPサーバー〕	アセットを外部のリモートサーバーに転送するための設定を行います。
〔S3バケット〕	アセットを外部のS3バケットに転送するための設定を行います。
〔Ci Media Cloud Service〕	アセットをソニーCiサービスに転送するための設定を行います。
〔インジェストサーバー〕	アセットをC3 Portalにインジェストするための設定を行います。
〔ウォーターマーク〕	SNSキャスト用のファイルとストリームに挿入するウォーターマークの設定を行います。
〔Webhook〕	APIを使用してC3 Portalのアセットの情報を受ける通知の設定を行います。
〔LUT〕	モバイルAppが対応しているカメラにインポートするLUTを管理します。
〔All file〕	モバイルAppが対応しているカメラにアップロードまたはダウンロードする設定ファイル（All file）を管理します。

## 〔トランスミッター設定〕

メニュー名	内容
〔バックアップ／復元〕	カムコーダーの設定をバックアップ／復元します。

## 〔メタデータ〕

メニュー名	内容
【ストーリーメタデータ】	プランニングインターフェースとのマッピング用や【アセット】画面の【ストーリー】タブに表示するためのメタデータ項目を追加、編集、削除するために使用します。これらの項目は、ストーリーを使用してプロキシクリップをアップロードする際のプランニングスキーマとしても使用されます。
【アセットメタデータ】	【アセット】画面の【アセット】タブに表示するためのメタデータ項目を追加、編集、削除するために使用します。
【プランニングI/Fマッピング】	プランニングインターフェースから取得した収録予定情報とストーリーとのマッピングを設定します。

## 【メンテナンス】

メニュー名	内容
【アセット保持時間】	アセットの自動削除の設定を行います。
【カメラAllファイル】	【バックアップ／復元】 ページで保存したカムコーダーの設定ファイル（All File）を削除します。
【ストーリー】	ストーリーの保存日数を指定します。ストーリーは保存期間が過ぎると自動的に削除されます。不要になったストーリーは手動で削除することもできます。
【ダッシュボード】	データ使用量およびライセンスの状態を確認します。ビューを変更して利用状況の表示方法を切り換えることができます。

### ご注意

- 【LUT】、【All file】、【バックアップ／復元】、【ダッシュボード】について詳しくは、ヘルプガイド（操作編）をご覧ください。



## システムの設定

C3 Portalの初期設定、自動アサイン使用時の出力先の選択などを行います。

### 1 【設定】画面で【全般】ページを選択する。

### 2 C3 Portalアプリケーションの動作に関する設定を行う。

- [タイムゾーン]
  - － [タイムゾーン]：タイムゾーンを選択します。
- [ユーザー名]
  - － [表示順序]：ユーザー名の表示方法を選択します。
- [ライブ]
  - － [ドラッグ&ドロップ操作]：[ライブ]画面でドラッグ&ドロップを使用してトランスミッターをレシーバーに関連付けたときの動作を選択します。
  - － [操作モード]：[後の操作を優先]を選択した場合、ストリーミング中にトランスミッターをレシーバーにドラッグ&ドロップすると、実行中のストリーミングが停止し、ドロップしたトランスミッターからのストリームを受信します。[先の操作を優先]を選択した場合は、ドラッグ&ドロップしても影響はありません。
  - － [強制ストリーミング]：ONに設定した場合、Altキーを押しながらトランスミッターをレシーバーにドラッグ&ドロップすると、[操作モード]の設定に関わらず強制的にストリーミングが開始されます。
  - － [自動ストリーミング]：ONに設定した場合、トランスミッターがオンラインになったときに、予約したポートで自動的にストリーミングが開始されます。
- [文字起こし]
  - － [自動処理]：アセットの音声を自動的に文字起こしするかどうかを選択します。
  - － [言語設定]：自動的に文字起こしする場合の言語を選択します。

#### ご注意

- [文字起こし] 機能を利用するには、オプションライセンスが必要です。
- [新しいユーザーのデフォルトの権限]
  - － 新規ユーザー登録時のリソースへのアクセス権を指定します。
- [プランニングインターフェースの表示]
  - － モバイルApp用のプランニングインターフェースを画面に表示せずに運用する場合は[デフォルトのプランニングインターフェースを画面に表示しない]にチェックを入れます。
- [サブクリップ作成]
  - － [タイトル]：サブクリップ作成時のタイトルの設定方法を選択します。
  - － [プリ/ポストロール (秒)]：クラウド収録中に作成したサブクリップの前後に付与するプリロールとポストロールの秒数を指定します。
- [エクスポート / ダウンロード]
  - － アセットを転送／ダウンロードする際のファイル名の設定を行います。

**3** **【保存】 ボタンをクリックする。**

ここからはカムコーダーとXDCAM pocketからのストリーミングに使用する出力先SDIポートを指定します。

**4** **【設定】 画面で【自動アサイン】 ページを選択する。**

ストリーミング出力時にサービスが使用するレシーバーとSDIポートを選択します。

**5** **サブメニューで設定を行うプロジェクト／ワークグループを選択する。**

**6** **SDI出力先を選択する。**

レシーバーと出力先はあらかじめ登録が必要です。詳しくは「レシーバー（RX）の設定」の各ページをご覧ください。

**7** **必要に応じて手順5と6を繰り返し、他のプロジェクト／ワークグループの設定を行う。**

**8** **【保存】 ボタンをクリックする。**

G-104-100-08(1) Copyright 2021 Sony Corporation

## プロジェクト／ワークグループの登録とユーザーの設定

プロジェクト／ワークグループを登録し、それぞれのユーザーの所属するプロジェクト／ワークグループと権限の設定を行います。

プロジェクト／ワークグループにはユーザー、トランスミッター、レシーバー、プランニングインターフェース、FTPサーバー（以下、総称して「リソース」といいます）を割り当てることができます。

プロジェクトの下位にワークグループが作成されます。

ワークグループに所属するユーザーはそのワークグループのリソースと上位のプロジェクトのリソースの両方を使用できます。プロジェクトに所属するユーザーはそのプロジェクトグループに割り当てられたリソースは使用できますが、プロジェクト下にあるワークグループのリソースは使用できません。

### 1 【設定】画面で【グループ】ページを選択する。

登録されているプロジェクトとワークグループがサブメニューに表示されます。


### 2 （追加）ボタンをクリックする。

プロジェクトを追加するダイアログが表示されます。

### 3 プロジェクト名を入力し、【保存】ボタンをクリックする。

サブメニューにプロジェクトが追加されます。

### 4 サブメニューのプロジェクト名の右にある（メニュー）ボタン>【ワークグループの追加】を選択する。

追加したプロジェクトやワークグループの編集と削除も、（メニュー）ボタンから行うことができます。

### 5 【設定】画面で【ユーザー】ページを選択する。

### 6 権限を設定したいユーザーをサブメニューから選択する。

### 7 ユーザーを所属させるグループと権限を設定する。

以下の権限を設定できます。

- 【アプリケーション管理者】：C3 Portalの設定を行う権限。チェックを入れたユーザーは、所属するグループに関係なく、すべてのグループ、ユーザー、機器の設定を行うことができます。また、【バックアップ/復元】を実行することができます。
- 【Live Viewer】：【ライブ】画面を閲覧する権限。Live ViewerとLive Operatorを同時に選択することはできません。
- 【Live Operator】：【ライブ】画面を操作する権限（閲覧を含む）。Live ViewerとLive Operatorを同時に選択することはできません。
- 【Media Viewer】：メディアのプレビューとコンテンツのダウンロードを行う権限。選択できる権限は、Media Viewer、Media Editor、Media Managerのうちの1つだけです。複数選択することはできません。
- 【Media Editor】：メディアを編集する権限。自分が所有するアセットのアップロードおよびメタデータの削除／移動／編集が可能です。選択できる権限は、Media Viewer、Media Editor、Media Managerのうちの1つだけです。複数選択することはできません。
- 【Media Manager】：メディアを編集する権限。自分が所有していないものも含めたすべてのアセットのアップロードおよびメタデータの削除／移動／編集が可能です。選択できる権限は、Media Viewer、Media Editor、Media Managerのうちの1つだけです。複数選択することはできません。

- [NRCS Operator] : [プランニング] 画面を操作する権限。この権限がない場合は、[プランニング] 画面を表示するボタンが表示されません。また、モバイルAppでメタデータを編集する権限も付与されます。
- [Camera Operator] : 割り当てられたストーリーをモバイル機器からトランスミッターに送信する権限。また、モバイル機器から[バックアップ/復元]を実行してユーザー設定をバックアップ/復元する権限も付与されます。

## 8 設定が完了したら[保存] ボタンをクリックする。

### ご注意

- 新規ユーザーにデフォルトの権限を設定している場合、登録後に運用に合った権限に変更してください。

## 機器用のユーザーの登録

トランスミッター、XDCAM pocket、レシーバー、プランニングメタデータゲートウェイの認証に使用するユーザーを登録します。

- 1 **【設定】画面で【機器認証】ページを選択する。**
- 2 **各機器の認証に使用するユーザー名とパスワードを入力する。**  
それぞれユーザーを2人まで設定できます。
- 3 **【保存】ボタンをクリックする。**

## トランスミッター（TX）の登録

ストリームと記録映像の転送元となる、ワイヤレスアダプターCBKWA100/101を接続したカムコーダー、ワイヤレス機能を搭載したカムコーダー、およびXDCAM pocketをC3 Portalに登録し、認証に使用するユーザー名とパスワードを設定します。

### ご注意

- XDCAM pocketの場合は、XDCAM pocketでC3 Portalと接続するための設定を行ってからC3 Portalに接続してください。接続したXDCAM pocketがリストに表示され、【状態】欄に「pending」と表示されます。【グループ】を設定し、【保存】ボタンをクリックしてください。XDCAM pocketの名称は、C3 Portalの設定に関わらず、XDCAM pocketで設定された名称が表示されます。

### 1 【設定】画面で【トランスミッター】ページを選択する。

### 2 **+**（追加）ボタンをクリックする。

リストの最後に行が追加されます。

### 3 追加された行にトランスミッターの情報を設定する。

追加された行の各項目に直接入力するかドロップダウンリストから選択します。

- 【名前】：トランスミッターの識別用の名称を入力します。
- 【グループ】：グループを選択します。
- 【モデル名】：トランスミッターの機種名を選択します。ドロップダウンリストにない機種は、直接名称を入力できます。
- 【シリアル番号】：トランスミッターにシリアル番号を関連付けます。
- 【ソフトウェアバージョン】：トランスミッターのソフトウェアバージョンを表示します。
- 【メタデータ】：プランニングインターフェースから受信したストーリーをカムコーダーに送信する場合にチェックを入れます。
- 【状態】：登録したトランスミッターとの接続が完了すると、「ready」に変わります。

### 4 必要に応じて手順2と3を繰り返し、他のトランスミッターの登録を行う。

### 5 トランスミッターの登録が終わったら【保存】ボタンをクリックする。

### 6 【設定】画面で【インカム】ページを選択する。

### 7 インターカム通信をする場合は、登録したトランスミッターごとに音声チャンネルを選択する。

各トランスミッターの【レシーバー音声チャンネル】欄で、音声チャンネルを選択してください。レシーバーとしてPWS-110RX1A/PWA-RX1が登録されていない場合は先にレシーバーの登録を行ってください。

### ご注意

- インターカムの設定でカムコーダーを選択するためには、トランスミッターが本サービスに登録され、【状態】が「ready」になっている必要があります。

**8** 音声チャンネルの設定が終わったら【保存】ボタンをクリックする。

G-104-100-08(1) Copyright 2021 Sony Corporation

## エンコーダーの登録

ストリームと記録映像の転送元となるエンコーダーをC3 Portalに登録します。

- 1 **【設定】画面で【エンコーダー】ページを選択する。**
- 2 **+（追加）ボタンをクリックする。**  
ダイアログが表示されます。
- 3 **エンコーダーに表示されるペアリングコードを入力し、エンコーダーに登録するグループを選択する。**
- 4 **【登録】ボタンをクリックする。**



## SRTリスナーの登録

ストリームと記録映像の転送元となるSRTリスナーをC3 Portalに登録します。

1 **【設定】画面で【SRTリスナー】ページを選択する。**

2 **+（追加）ボタンをクリックする。**

リストの最後に行が追加されます。

3 **追加された行にSRTリスナーの情報を設定する。**

追加された行の各項目に直接入力するかドロップダウンリストから選択します。

- **【名前】**：トランスミッターの識別用の名称を入力します。
- **【グループ】**：グループを選択します。
- **【プロトコル】**：使用するプロトコルが表示されます。変更できません。
- **【タイプ】**：SRTリスナーのタイプが表示されます。変更できません。
- **【リージョン】**：使用するリージョンを選択します。
- **【アドレス】**：SRTストリームの送信元機器からSRTリスナーに接続するためのURLが表示されます。変更できません。
- **【ポート番号】**：ポート番号が表示されます。変更できません。
- **【パスフレーズ】**：必要に応じてパスフレーズを入力します。

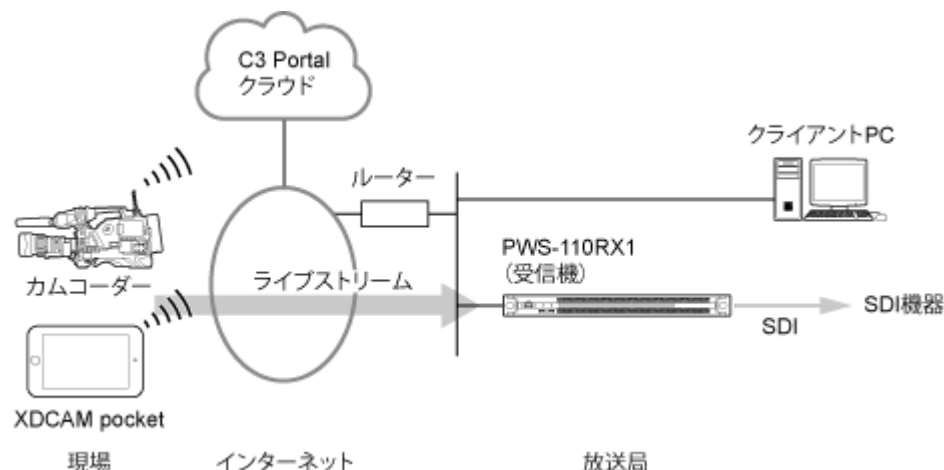
4 **【保存】ボタンをクリックする。**

## 局内ネットワークの設定

RXをセットアップする前に、局内ネットワークの設定を行い、RXの設定時に使用する項目の値を確認します。

### ネットワークの構成

以下のシステム構成では、RXでストリーミング映像を受信し、C3 Portalサービスで接続を管理します。



### ポートの開放

#### 使用する主なポート

C3 Portal → TXの制御 : TCP 8443

RX → C3 Portal : TCP 443

TX → RXのストリーミング : 1台のRXにつき20の連続するUDPポート

#### 使用するポートの詳細

局内のルーターの設定を変更し、下記のポートを受信（ダウンロード）または送信（アップロード）トラフィック用に開放します。受信トラフィックはインターネットからRX、送信トラフィックはRXからインターネットへのトラフィックを表します。

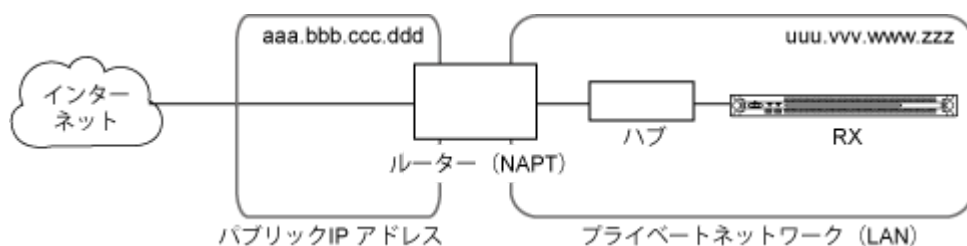
ポート	種類	方向	用途	C3 Portal	備考
8443 (任意)	TCP	受信	TX - CCM 制御接続 カムコーダー、ワイヤレスアダプター	オプション	バックアップとしてスタンドアロン構成を構築する場合は必須。
8444 (任意)	TCP	受信	TX - CCM 制御接続 XDCAM pocket	オプション	バックアップとしてスタンドアロン構成（ネットワークRXステーション）を構築する場合は必須。
10000 ～ 10019 (任意)	UDP	受信	TX - RX ストリーミング接続	必須	1台のRXにつき20の連続するUDPポートを任意の範囲で使用可能。

ポート	種類	方向	用途	C3 Portal	備考
443	TCP	送信	CCM - RX 制御接続	必須	
9084	TCP	送信	Initialization Tool - Test Server Initialization Tool - Port Check	オプション	ネットワーク設定の際にポートチェックツールを実行する場合は必須。
11500	TCP	送信	RX - C3 Portal インターカム	必須	
443	TCP	送信	C3 Portalマルチポイント配信 (MPD) とWeb UI (https)	必須	
80	TCP	送信	クライアントとC3 Portal間の証明書チェック	必須	TLS経由の接続時に証明書の失効を確認する場合は必須。

## WANからLANへのポートフォワード（NAPT）設定

「使用するポートの詳細」の表の受信ポートは、局内のルーターに対するポートフォワード（NAPT）の設定が必要です。RXの環境設定時に必要になるので、設定内容をメモしておいてください。固定IPアドレスによる運用をお勧めします。

### 放送局側のネットワークトポロジー図



### NAPTテーブル

- WAN IP アドレス : aaa.bbb.ccc.ddd (ISPが提供)
- WAN ポート : 10000 ~ 10019 (任意)
- TCP/UDP : UDP
- LAN IPアドレス : uuu.vvv.www.zzz (任意)
- LANポート : 10000 ~ 10019 (WANポートと同じ)

### ご注意

- 接続したRX1台につき20のポートが必要です。

### 必要なネットワーク情報

項目	値 (例)	適用場所
パブリックIPアドレス	aaa.bbb.ccc.ddd	C3 Portalの「設定」画面>「レシーバー」ページ>「外部ホスト名」 Initialization Tool - Port Check
外部UDPポート	XXXXX (+20)	C3 Portalの「設定」画面>「レシーバー」ページ>「外部ポート番号(+20)」 Initialization Tool - Port Check
ローカルIPアドレス	uuu.vvv.www.zzz (上図参照)	RXのネットワーク設定

項目	値 (例)	適用場所
サブネットマスク	255.255.255.0	RXのネットワーク設定
デフォルトゲートウェイ	uuu.vvv.www.1	RXのネットワーク設定
優先DNSサーバー		RXのネットワーク設定
代替DNSサーバー		RXのネットワーク設定

## 必要な帯域幅

ネットワーク接続には、1台のRXにつき以下の受信（ダウンロード）および送信（アップロード）帯域幅が必要です。

合計受信帯域幅		25 Mbps
使用形態	ストリーミング	12 Mbps × 2 = 24 Mbps
	制御	1 Mbps
合計送信帯域幅		26 Mbps
使用形態	マルチポイント配信	12 Mbps × 2 = 24 Mbps
	プレビュー	1 Mbps
	制御およびサムネイル	1 Mbps

これにより、2つのストリームを同時に受信し、最高の品質レベルで再生できます。低帯域幅の接続も使用可能です。

## C3 Portalテナントの設定

契約後にテナント管理者に提供される情報は、RXのセットアップ時に必要になります。

項目	エンドポイントのURL : ポート	用途
Web UI	https://www.c3p.sony.net:443	WebブラウザからC3 Portalへのアクセス
TX接続	[設定] 画面の [機器認証] ページに表示	C3 Portalサービスに接続するためのトランスミッターの設定
RX接続		Initialization Tool - Settings (CCM Address、CCM Port)

## RXの設定の流れ

RX機器の設定について、標準的な流れを説明します。詳しくは、PWS-110RX1A/PWA-RX1のオペレーションマニュアルをご覧ください。

- ① RXの配線とログインパスワードの変更を行う。
- ② 言語を設定する。
- ③ IPアドレスを設定する。
- ④ 日時を設定する。
- ⑤ Windows Updateを行う。
- ⑥ Google Chromeをアップデートする。

## RXのアップデート

---

- 1 **RXアプリケーションとCCMソフトウェアのバージョンを確認し、RX1 v1.18.0以降にアップデートする。**  
アップデートについて詳しくは、各RXのソフトウェアアップデートガイドをご覧ください。

## C3 PortalへのRXの登録

C3 PortalにRXを登録する手順を説明します。

### ご注意

- RXの交換等でRXのダウングレードが必要な場合は、登録済みのRXを削除して再度登録してください。

### 1 「設定」画面で「レシーバー」ページを選択する。

レシーバーのリストが表示されます。

### 2 +（追加）ボタンをクリックする。

リストの最後に行が追加されます。

### 3 追加された行にレシーバーの情報を設定する。

追加された行の各項目に直接入力するかドロップダウンリストから選択します。

- [名前]：レシーバーの識別用の名称を入力します。
- [グループ]：グループを選択します。
- [モデル名]：レシーバーの機種名を選択します。機種名は、RXの機器上面に記載されています。
- [シリアル番号]：レシーバーにシリアル番号を関連付けます。PWS-110RX1Aのシリアル番号は、PWS Maintenance Web Applicationで確認してください。PWA-RX1のシリアル番号は、PWA-RX1のヘルプガイド「C3 Portalと接続するための設定」の手順で確認してください。
- [外部ホスト名]：インターネットからレシーバーにアクセスするためのIPアドレスまたはホスト名を入力します。「局内ネットワークの設定」の「必要なネットワーク情報」で示した「パブリックIPアドレス」の値を入力してください。
- [外部ポート番号(+20)]：インターネットからストリーミングコンテンツを受信するためのUDPポートの開始番号を入力します。「局内ネットワークの設定」の「必要なネットワーク情報」で示した「外部UDPポート」の値を入力してください。
- [SDI(1,2)ポート名]、[SDI(3,4)ポート名]：SDI 1/2および3/4のポート名を変更できます。
- [出力信号]：ストリーミング停止時に出力する画像を選択します。
- [解像度]：出力画像の解像度を選択します。
- [フレームレート]：出力画像のフレームレートを選択します。
- [リファレンスロック]：SDI出力をロックするための外部同期信号を選択します。

### ご注意

- PWA-RX1とDeckLink SDI 4Kの組み合わせの場合は、[SDI(3,4)ポート名]は使用できません。

### 4 必要に応じて手順2と3を繰り返し、他のレシーバーの登録を行う。

### 5 レシーバーの登録が終わったら「保存」ボタンをクリックする。

## 動作テスト

C3 Portalに登録したTXとRXが正しく動作するかを確認します。

### 1 カムコーダーまたはワイヤレスアダプターをC3 Portalに接続する。

#### ご注意

- Deviceライセンスが必要です。

### 2 XDCAM PocketをC3 Portalに接続する。

#### ご注意

- Deviceライセンスが必要です。

### 3 ストリーミングの動作を確認する。

登録したTXからRXへのストリーミングをメイン出力として開始します。

- RX SDI1&2ポートからのストリーミング映像／音声の出力が正常である。
- RX SDI3&4ポートからのストリーミング映像／音声の出力が正常である。

#### テストの観点

- ストリームレシーバーの接続では、送信トラフィックにTCP 443ポートを使用している。
- ストリーミング信号は、受信トラフィックに【外部ポート番号(+20)】に登録されているUDPポートを使用している。

### 4 マルチポイント配信の動作を確認する。

登録したTXから、RX SDI1&2へのストリーミングをメイン出力として、SDI 3&4へのストリーミングをサブ出力として開始します。

- RX SDI1&2ポートからのストリーミング映像／音声の出力が正常である。
- RX SDI3&4ポートからのストリーミング映像／音声の出力が正常である。

#### テストの観点

- RXからC3 Portal（MPDアップストリーム）への接続では、送信トラフィックにTCP 443ポートを使用している。

#### ご注意

- サブ出力（MPDストリーミング）は、メイン出力に対して約30秒の遅延があります。

### 5 インターカムの動作を確認する。

カムコーダーとストリームレシーバーの間でインターカムの操作を開始します。

- インターカムのアップストリームとダウンストリームの音声が正常である。

#### テストの観点



- オーディオインターフェースドライバーがストリームレシーバーに正常にインストールされている。
- インターカムストリーム（RXからTX）では、送信トラフィックにTCP 11500 ポートを使用している。

#### ご注意

- あらかじめインターカムを設定してから確認を行う必要があります。インターカムの設定方法について詳しくは、「トランスミッター（TX）の登録」をご覧ください。

G-104-100-08(1) Copyright 2021 Sony Corporation

## C3 PortalへのNRCSの登録

NRCS Gateway Server App（PWA-NRCS01）のインストールを開始する前に、NRCSをネットワークタイプのプランニングインターフェースとしてC3 Portalに登録します。詳しくは、「プランニングインターフェースの登録」をご覧ください。

### 関連項目

- [プランニングインターフェースの登録](#)

## NRCS Gateway Server Appの動作環境

---

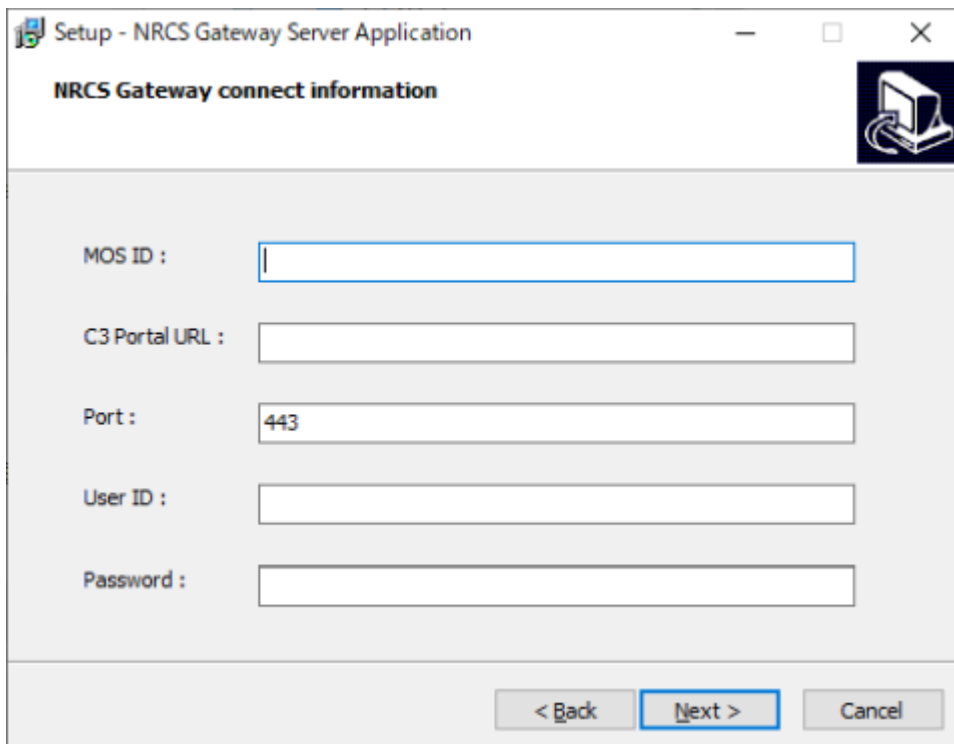
NRCS Gateway Server App（PWA-NRCS01）を実行するには、Windows Server 2012/2012 R2/2016またはWindows 10 OSが必要です。Windows Server 2012/2012 R2を使用する場合は、PowerShell 5.0も必要です。

## NRCS Gateway Server Appの初期設定

## ご注意

- NRCS Gateway Server App（PWA-NRCS01）のインストールを開始する前に、NRCSをネットワークタイプのプランニングインターフェースとしてC3 Portalに登録します。詳しくは、「プランニングインターフェースの登録」をご覧ください。

- Administrator権限を持つユーザーとしてWindowsにログインし、PWA-NRCS01インストーラーを起動する。
- 【Next】ボタンをクリックする。
- 使用する地域を選択して【Next】ボタンをクリックする。
- 利用許諾契約が表示されるので、内容を確認して【I accept the agreement】を選択し、【Next】ボタンをクリックする。  
C3 Portalに接続するための設定を行うには、契約の条件に同意する必要があります。
- 各項目を入力し、【Next】ボタンをクリックする。

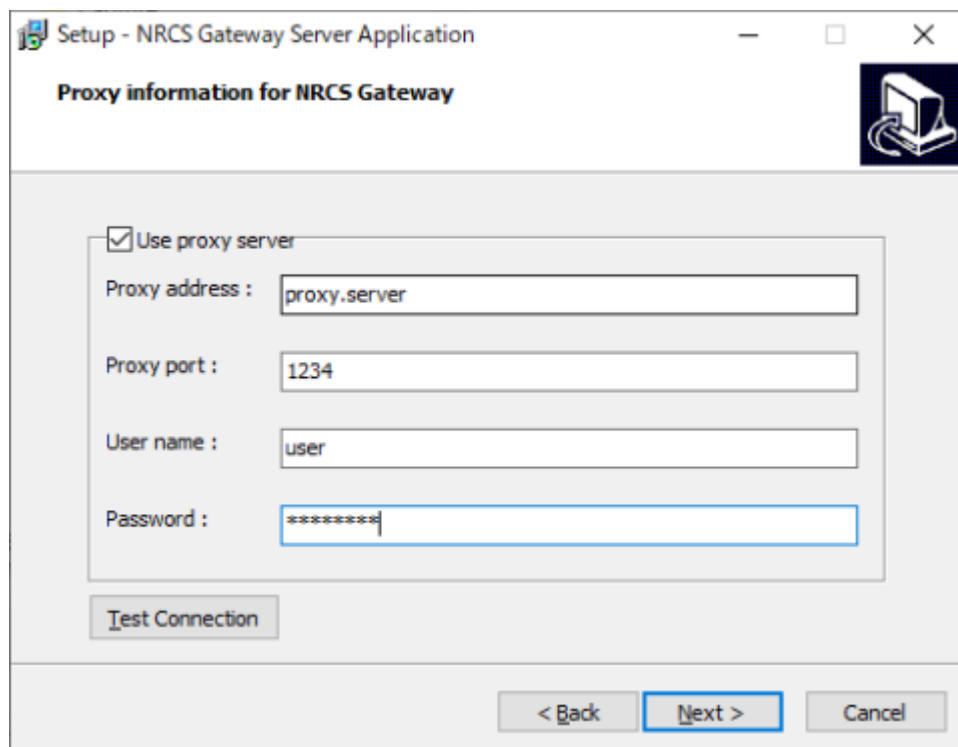


- 【MOS ID】：C3 PortalのMOSデバイスIDを入力します。C3 PortalとNRCS の両方に同じ値を登録する必要があります。C3 Portalでは、【設定】画面の【プランニングI/F】ページで設定します。
- 【C3 Portal URL】：ソニーから提供されるC3 PortalのWebアプリケーションのエンドポイントを入力します。
- 【Port】：NRCS Gateway ServerとC3 Portalの通信に使用するポート番号「443」を入力します。
- 【User ID】：C3 Portalに登録されている接続用のユーザーIDを入力します。C3 Portalでは、【設定】画面の【機器認証】ページで設定します。

- [Password] : C3 Portalに登録されている接続用のパスワードを入力します。C3 Portalでは、[設定] 画面の[機器認証] ページで設定します。

**6** プロキシを使用する場合は、下記の操作をして [Next] ボタンをクリックする。プロキシを使用しない場合は、[Use proxy server] のチェックを外して [Next] ボタンをクリックする。

1. [Use proxy server] のチェックを入れてプロキシサーバーの情報を入力する。



- [Proxy address] : プロキシサーバーのアドレス
- [Proxy port] : プロキシサーバーのポート番号
- [User name] : ユーザー認証に使用するユーザー名
- [Password] : ユーザー認証に使用するパスワード

2. [Test Connection] ボタンをクリックし、C3 Portalとの接続テストを行う。  
接続が完了すると、「Successfully connected to C3 Portal」というメッセージが表示されます。接続に失敗した場合は、プロキシサーバーの情報と設定を再度確認してください。

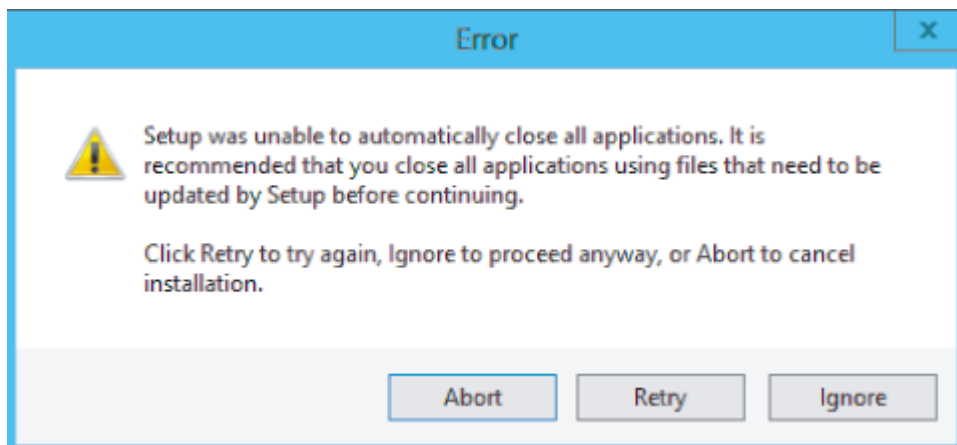
**7** 画面の説明に従ってPWA-NRCS01のインストール先フォルダーやショートカットを作成するスタートメニューのフォルダーを選択し、インストールを行う。

**8** [Finish] ボタンをクリックしてインストーラーを終了する。

## アップデートを行うには

ソフトウェアのアップデートを行う場合は、Windowsのコントロールパネルを使用して、古いバージョンのソフトウェアをアンインストールしてください。コンピューターを再起動後、新しいバージョン用のインストーラーを使用して再度インストールしてください。

下記のメッセージが表示されたら



アップデートの際、稼働中のNRCS Gateway Serverサービスの停止に時間がかかる場合に表示されるメッセージです。[Retry] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。

### 設定を変更するには

アップデートを行う場合と同様にソフトウェアをアンインストールし、再度インストールしてください。

---

### 関連項目

- [プランニングインターフェースの登録](#)

## プランニングインターフェースの登録

プランニングインターフェースを登録し、プランニングインターフェースの収録予定情報とストーリーとのマッピングを設定します。

以下のセットアップを行うには、NRCS OperatorとApplication Administratorの権限が必要です。

### プランニングインターフェースのタイプについて

プランニングインターフェースにはネットワークタイプとローカルタイプがあります。

NRCS Gateway Server Appを介してC3 Portalと接続するニュースルームコンピューターシステム（NRCS）を登録したい場合は、ネットワークタイプのプランニングインターフェースとして登録します。

C3 Portal上で収録予定情報を作成する場合はローカルタイプのプランニングインターフェースとして登録します。

#### 1 【設定】画面で【プランニングI/F】ページを選択する。

サブメニューに登録済みのプランニングインターフェースが表示されます。

##### ご注意

- 各グループの作成時に自動的に作成されたデフォルトのプランニングインターフェースの頭には、「\*」が表示されます。
- デフォルトのプランニングインターフェースはローカルタイプです。名前の変更は可能ですが、削除することはできません。ただし、【設定】画面の【全般】ページで「デフォルトのプランニングインターフェースを画面に表示しない」にチェックを入れると非表示にできます。
- 使用されているプランニングインターフェースを削除すると、そのプランニングインターフェースで作成されたストーリーはピンにリンクされているかどうかに関わらず削除されます。

#### 2 +（追加）ボタンをクリックする。

#### 3 表示されたダイアログに登録するプランニングインターフェースの名前を入力して【追加】をクリックする。

サブメニューにプランニングインターフェースが追加されます。

#### 4 追加されたプランニングインターフェースを選択し、設定を行う。

- 【名前】：プランニングインターフェースの識別用の名称を入力します。
- 【タイプ】：プランニングインターフェースの種類を選択します。ネットワークを介してNRCSに接続する場合は【ネットワーク】を選択します。C3 Portalを使用してストーリーを作成する場合は【ローカル】を選択します。【ローカル】を選択すると、【名前】と【グループ】以外の設定が無効になります。
- 【MOS ID】：通信で使用するMedia Object Server（MOS）のIDを入力します。NRCS Gateway Server Appのインストール時にも同じ値を入力してください。
- 【MOS lowerポート】：MOSの下位ポートを入力します。
- 【MOS upperポート】：MOSの上位ポートを入力します。
- 【NCS ID】：NRCSのIDを入力します。
- 【NCSアドレス】：NRCSのアドレスを入力します。
- 【NCSポート】：NRCSが使用するポートを入力します。
- 【Auto assign】：NRCSから登録されたストーリーをユーザー、カメラおよびエンコーダーに自動でアサインするかどうかを選択します。

##### ご注意

- 【Auto assign】の設定を変更しても、既に登録されているストーリーには反映されません。

- 設定を有効にすると、登録済みのストーリーが1分ごとにチェックされ、ステータスが「Registered」かつ最後の更新からの経過時間が設定値（1分～55分）を超えているストーリーがアサイン対象となります。
- Auto assignによってアサインされたストーリーが本サービス上で更新された場合、自動で再アサインはされません。更新されたストーリーをユーザーやカメラに手動で送信してください。
- カムコーダーが記録中の場合などは、ストーリーがアサインされずにエラーが出ることがあります。この場合、初回のアサインから1時間後まで自動的に再アサインが行われます。
- [登録ルール]：タイトルが空白または特定の文字列のストーリーをNRCSから受信したときに本サービスに登録しない場合は、チェックボックスにチェックを入れて文字列を指定します。

#### ご注意

- [登録ルール] の設定はストーリーがNRCSから新規に登録されるときのみ有効です。登録済みのストーリーに対しては効力がありません。
- [削除ルール]：NRCSのroStoryDeleteコマンドまたはroElementActionコマンドによってC3 Portal上のストーリーを削除する場合、チェックを入れます。
- [グループ]：**+**（追加）ボタンをクリックしてリストに項目を追加し、プルダウンリストからグループを選択します。追加したグループを削除するには、チェックボックスにチェックを入れて**🗑**（削除）ボタンをクリックします。
- [ストーリーメタデータ]：[ストーリーメタデータ] ページで設定されている内容が表示されます。選択しているプランニングインターフェースで使用したいメタデータにチェックを入れます。

#### ご注意

- プリセットされているメタデータのチェックは外せません。
- 各メタデータの設定は変更できません。設定変更は[ストーリーメタデータ] ページで行います。

### 5 [保存] をクリックする。

#### ご注意

- [タイプ] が [ネットワーク] のプランニングインターフェースのMOSとNCSの設定変更が反映されたとき、それらの設定を使用しているNRCS Gatewayと接続している場合は、再接続が行われます。
- 接続先のNRCSでも再接続が必要な場合は、NRCSで再接続と動作確認を行ってから運用に復帰してください。

### 6 必要に応じて手順2～5を繰り返し、他のプランニングインターフェースの登録を行う。

### 7 [設定] 画面で [ストーリーメタデータ] ページを選択し、メタデータを登録する。

詳しくは、「ストーリーメタデータの設定」をご覧ください。

### 8 [設定] 画面で [プランニングI/Fマッピング] ページを選択する。

サブメニューに登録済みのプランニングインターフェースが表示されます。


### 9 サブメニューからメタデータをマッピングしたいプランニングインターフェースを選択する。

選択したプランニングインターフェースに登録されているタグとキーが表示されます。

### 10 ストーリーとNRCSの収録予定とのマッピングを行う。

**+**（追加）ボタンをクリックしてリストに行を追加し、[タグ] と [キー] をドロップダウンリストから選択します。ストーリーの各項目名に対応する [タグ] を選択します。  
必要なタグがリストにない場合は [タグの編集] をクリックし、表示されたダイアログでリストに追加したいタグにチェックを入れて [保存] ボタンをクリックします。



また、別途作成したdocxファイルのタグを読み取ってドロップダウンリストに追加する場合は、[タグの編集]をクリックして表示されたダイアログで (docxファイルから読み取り) ボタンをクリックします。タグを読み取りたいdocxファイルを選択すると、読み取られたタグがダイアログに追加されるので、リストに追加したいタグにチェックを入れて[保存] ボタンをクリックします。

タグを埋め込んだdocxファイルの作成方法については「Call Sheetへのタグ登録」をご覧ください。


**11** [保存] ボタンをクリックする。

**12** [設定] 画面で[ストーリー] ページを選択する。

**13** サブメニューからプランニングインターフェースを選択する。

**14** [保持期間] にチェックを入れ、ストーリーを保持する日数を指定する。

運用上、ストーリーが不要になり、削除されてもよい日数を指定してください。

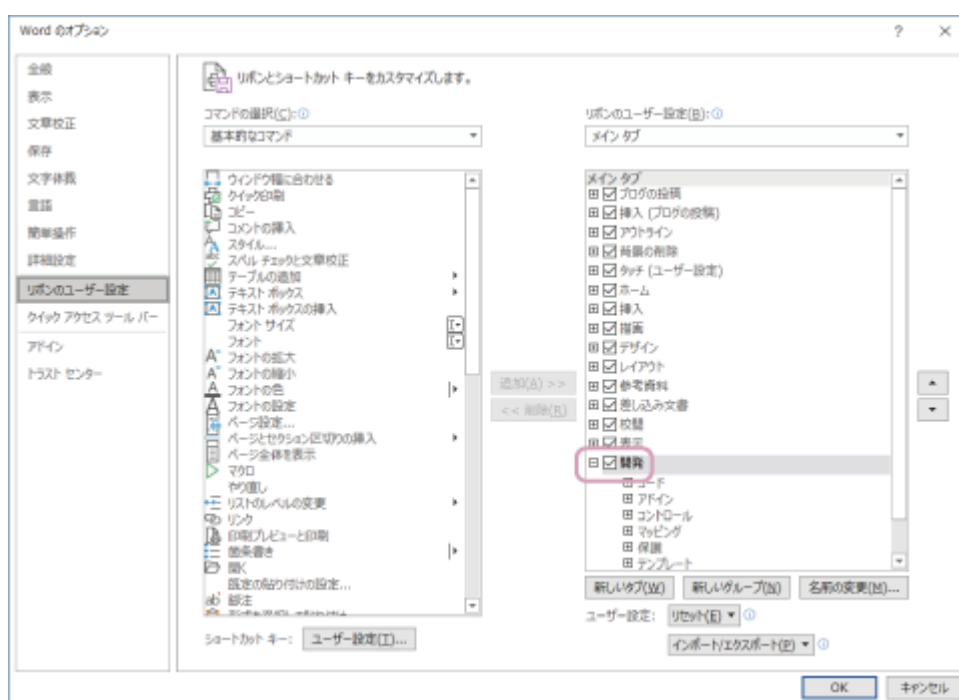
手動で不要なストーリーを削除したいときは、削除対象のストーリーにチェックを入れ、 (削除) ボタンをクリックしてください。

**15** [保存] ボタンをクリックする。

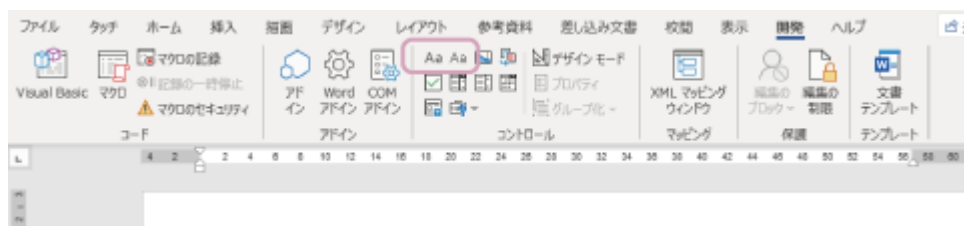
## Call Sheetへのタグ登録

Wordで作成したCall Sheetにタグを登録しておくことで、Call SheetをC3 Portalで読み取ってタグを登録したり、ストーリーを取り込んだりすることができます。

- 1 コンピューターでWordを起動する。
- 2 [ファイル] > [オプション] をクリックする。
- 3 [リボンのユーザー設定] > [メインタブ] で [開発] にチェックを入れて [OK] ボタンをクリックする。



- 4 Wordで作成されたCall Sheetを開く。
- 5 タグを埋め込みたい位置を選択して [開発] タブの [リッチテキストコンテンツコントロール] または [テキストコンテンツコントロール] をクリックする。

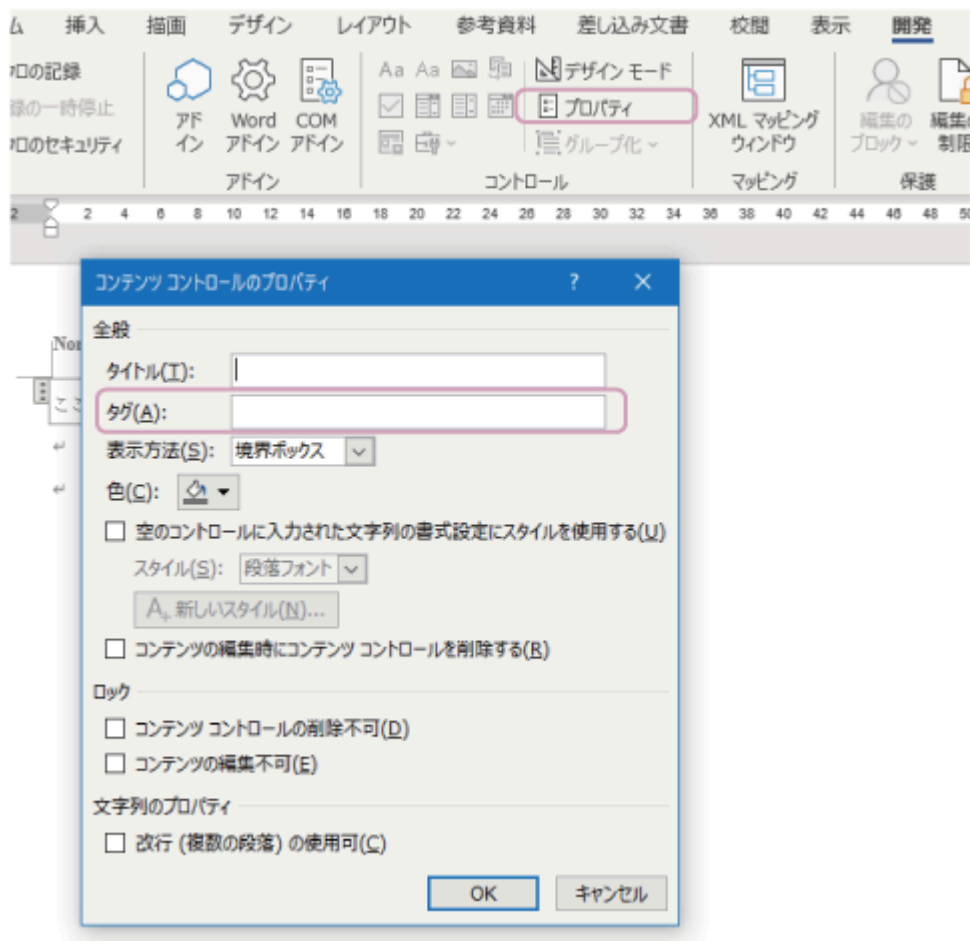


選択した位置にコンテンツコントロールが埋め込まれます。

- 6 コンテンツコントロールを選択して [プロパティ] をクリックする。

ダイアログが開きます。

7 ダイアログの「タグ」欄に任意のタグを登録し、「OK」ボタンをクリックする。



コンテンツコントロールにタグが登録されます。

**ご注意**

- ローカルタイプのプランニングインターフェースの場合、タグに使用できる文字種と文字数には制限があります。英数字および!@#\$%^&\*()\_+-=,.<>?;'":'[]{}を使用して64文字以内で設定してください。これ以外の文字を使用したり、文字数の制限を超えたりすると、C3 Portalでタグを読み込む際にエラーが出ます。

8 Call Sheetを保存して閉じる。

## ストーリーメタデータの設定

1 【設定】画面で【ストーリーメタデータ】ページを選択する。

2 【タイトル】で【オリジナル】または【カスタム】を選択する。

【カスタム】を選択した場合は、タイトルを入力します。入力した文字列がメタデータのタイトルとして設定されます。また、このとき【キー】をタイトルに使用できます。複数のキーを使用することでタイトルをカスタマイズできます。

### ご注意

- カムコーダーの機種によっては、タイトルの文字列の先頭44バイトのみが有効になります。また、サポートされていない文字は\_（アンダーバー）に置き換えられます。
- タイトルに【キー】を使用する場合は、ストーリーがアサインされた際にそのキーのメタデータに値が入るものを使用してください。ストーリーがアサインされた際にメタデータに値が入らないキーを使用すると、タイトルが設定されるときに該当キー部分が空白になります。

3 **+**（追加）ボタンをクリックする。

リストの最後に行が追加されます。

4 追加された行を選択し、メタデータの設定を行う。

- 【キー】：C3 Portalのストーリーのキーを入力します。
- 【表示名】：C3 Portalに表示する名称を入力します。
- 【タイプ】：キーのタイプを選択します。
- 【必須】【編集】【ソート】【高度な検索】：そのメタデータを対象にしたい場合は、各項目のチェックボックスにチェックを入れます。

5 必要に応じて手順3と4を繰り返し、メタデータの設定を行う。

6 追加したメタデータの表示順を設定する。

追加したメタデータを選択し、/（上／下）をクリックして表示順を変更します。

### ご注意

- 表示順の変更は追加したメタデータのみ行えます。本サービスにデフォルトで登録されているメタデータの表示順を変更することはできません。

7 【保存】ボタンをクリックする。

## アセットメタデータの設定

1 【設定】画面で【アセットメタデータ】ページを選択する。

2 （追加）ボタンをクリックする。

リストの最後に行が追加されます。

3 追加された行を選択し、メタデータの設定を行う。

- 【キー】：C3 Portalのアセットのキーを入力します。
- 【表示名】：C3 Portalに表示する名称を入力します。
- 【タイプ】：キーのタイプを選択します。
- 【必須】【編集】【ソート】【表示】【高度な検索】：そのメタデータを対象にしたい場合は、各項目のチェックボックスにチェックを入れます。

### ヒント

- 【表示】のチェックを外すと【アセット】画面には表示されなくなり、APIを使用したアクセス時専用のメタデータとして使用できます。

4 必要に応じて手順2と3を繰り返し、メタデータの設定を行う。

5 追加したメタデータの表示順を設定する。

追加したメタデータを選択し、/（上／下）をクリックして表示順を変更します。

6 【保存】ボタンをクリックする。

## ウォーターマークの作成

ストリーミング映像をSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）または外部システムに配信する際に挿入するウォーターマークを作成できます。

① **【設定】画面で【ウォーターマーク】ページを選択する。**

② **+（追加）ボタンをクリックする。**

ダイアログが表示されます。

③ **【プリセット名】に名前を入力し、【参照】ボタンをクリックして、画像ファイルを選択する。**

### ご注意

- ウォーターマークとして使用できるのは、2 MB以下のPNGファイルです。

④ **【位置】でウォーターマークを画面の四隅のどこに表示するかを選択する。**

⑤ **【保存】ボタンをクリックする。**

## ソニーCiの設定

ソニーCiに接続するための設定方法を説明します。

### ご注意

- この設定を完了するには、Ciアカウントにログインする必要があります。使用するCiのアカウントが有効であることを事前に確認してください。

1 【設定】画面で【Ci Media Cloud Service】ページを選択する。

2 **+**（追加）ボタンをクリックする。

ダイアログが表示されます。

3 Ci設定の名前を入力して【保存】ボタンをクリックする。

4 追加したCi設定を選択して、【接続タイプ】で【電子メール / パスワード】、【File Request】、【Ciネットワークおよびユーザー】のいずれかを選択する。

- 【電子メール / パスワード】を選択した場合は、【ログイン】ボタンをクリックしてソニーCiにアクセスできることを確認し、【ワークスペース】と【転送先フォルダ】を設定する。
- 【File Request】を選択した場合は、【File Request ID】にCiアカウントで作成したIDを入力する。
- 【Ciネットワークおよびユーザー】を選択した場合は、【ログイン】ボタンをクリックしてCiにアクセスできることを確認し、【ネットワーク】を設定する。選択したネットワークに所属するユーザーの中からC3 Portalで使用するユーザーを**+**（追加）ボタンをクリックして追加する。

### ご注意

- ソニーCiのアカウントをC3 Portalで使用するためには、あらかじめネットワークに所属するユーザーの登録が必要です。
- 【ネットワーク】で選択したソニーCiのネットワークがC3 Portalの他の契約で既に使用されている場合は、エラーとなります。
- 登録した各ユーザーに対し、【設定】画面の【ユーザー】ページで権限を設定してください。

5 【保存】ボタンをクリックする。

## S3バケットの設定

S3バケットに接続するための設定方法を説明します。

### ご注意

- この設定は、あらかじめバケットの管理者に設定内容を確認してから行ってください。

- 1 【設定】画面で【S3バケット】ページを選択する。
- 2 **+**（追加）ボタンをクリックする。  
ダイアログが表示されます。
- 3 S3バケットの名前を入力して【保存】ボタンをクリックする。
- 4 追加したS3バケットを選択して、設定を行う。
- 5 【保存】ボタンをクリックする。



## インジェストサーバーの設定

インジェストサーバーに接続するための設定方法を説明します。

**1** **【設定】画面で【インジェストサーバー】ページを選択する。**

【ホスト名】、【ポート番号】、【CA 証明書 (PEM)】はあらかじめ設定されています。

**2** **+（追加）ボタンをクリックする。**

リストに行が追加されます。

**3** **インジェストに使用するFTPクライアントのユーザー名、パスワード、グループを指定する。**

**ご注意**

- 指定したユーザー名とパスワードを使用してインジェストしたプロキシファイルは、【Auto Upload】ビンにインジェストされます。

**4** **【保存】ボタンをクリックする。**

**5** **【ダウンロード】ボタンをクリックして、証明書をダウンロードする。**

**6** **FTPクライアントの転送モードをFTPSに設定し、ダウンロードした証明書をFTPクライアントに登録する。**

## Webhookの設定

Webhookを使用して、C3 Portal上でアセットやビンが作成・変更された際に外部システムに通知を行う方法を説明します。

- 1 【設定】画面で【Webhook】ページを選択する。
- 2 **+**（追加）ボタンをクリックする。  
ダイアログが表示されます。
- 3 Webhookの名前を入力して【保存】ボタンをクリックする。
- 4 追加したWebhookを選択する。
- 5 【URL】に通知先のURLを入力する。
- 6 【イベントタイプ】で外部システムに通知を行うイベントを選択する。
- 7 認証のON/OFFを選択し、ONにした場合は認証情報を設定する。
- 8 設定した通知先にWebhookをテスト送信するには【テスト】ボタンをクリックする。
- 9 【保存】ボタンをクリックする。

設定したWebhookで通知されるPOSTメッセージのBodyは次のようになります。

### assetのWebhook Body例

```
{
  "senderId": "51987e87-8c97-47ac-a604-427da571d885",
  "webhookId": "uAne_H4BsCp6f5HEAtE7",
  "tenantId": "xxxxxxxxxxxx",
  "groupId": "5QVEunwBbes12346d0dU",
  "type": "UpdateMetadata",
  "createdOn": "2022-03-01T06:23:55+0000",
  "assets": [
    {
      "id": "2kkIRH8Bnq3Km-B7mIcu",
      "name": "CLIP1472S03"
    }
  ]
}
```

### binのWebhook Body例

```
{
  "senderId": "d7b78b5a-6ca5-4389-8701-a4ceb16ae87f",
  "webhookId": "uAne_H4BsCp6f5HEAtE7",
  "tenantId": "xxxxxxxxxxxxxxxx",
  "groupId": "5QVEunwBbes12346d0dU",
  "type": "Create",
  "createdOn": "2022-03-01T11:00:57+0000",
  "bins": [
    {
      "id": "5QVEunwBbes1sNs6d0dU. AU. 3vbT_oon5y-GlKtEU1Tx8A. e0hIEZ4Bm9ybaqYTQ0zLPw",
      "name": "webhook 01 "
    }
  ]
}
```

#### チャンク記録のWebhook Body例

```
{
  "senderId": "8961b7df-328f-4ac6-9a90-bb960c7d1db1",
  "webhookId": "yeWQ4X4B7gph0Ncfrmq0",
  "tenantId": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx",
  "groupId": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx",
  "type": "StartChunkRecording",
  "createdOn": "2022-08-04T08:13:43+0000",
  "assets": [
    {
      "id": "3fTqZ4IBd-ykx5pI41Nh",
      "name": "CLIP3416S03"
    }
  ]
}
```

#### ストーリーのWebhook Body例

```
{
  "senderId": "409b438c-0c9b-41d1-81dc-3d525bfeee10",
  "webhookId": "uAne_H4BsCp6f5HEAtE7",
  "tenantId": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx",
  "groupId": null,
  "type": "UpdatePlanningMetadata",
  "createdOn": "2022-08-09T01:57:27+0000",
  "updatePlanningMetadata": [
    {
      "id": "edd4a897-90e5-428b-8b40-5a0bc.....",
      "name": "TEST Story 0809"
    }
  ]
}
```

#### 転送ステータスのWebhook Body例

```
{
  "senderId": "9cc45b1e-b787-4ceb-9df0-6ddbe7bbe876",
  "webhookId": "qDc02oYB7Wwts70T_3Iu",
  "tenantId": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx",
  "groupId": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx",
  "type": "TransferStatus",
  "createdOn": "2023-03-13T09:04:26+0000",
  "assets": [
    {
      "id": "10-12IYBxPyBFPyZJoe2",

```

```

    "name": "CLIP3369S03"
  }
]
}

```

## Webhookのテストで送られるBody例

```

{
  "senderId": "f08ab53d-bf52-44b9-9758-0fde7a355106",
  "webhookId": "uAne_H4BsCp6f5HEAtE7",
  "tenantId": "xxxxxxxx",
  "groupId": null,
  "type": "Test",
  "createdOn": "2022-03-01T11:53:26+0000",
  "assets": []
}

```

## Bodyの各要素について

- **senderId** : ユニークなWebhookのid
- **webhookId** : 登録したWebhookの設定id
- **tenantId** : Tenantのid
- **groupId** : チャンク記録、bins、assetsのイベントが起きたbinの所属するgroup id（ストーリーの場合は「null」）
- **type** : イベントの種類  
選択したイベントに合わせて通知されます。
  - assetsまたはbins
    - 作成／Create
    - 移動／Move
    - コピー／Copy
    - ゴミ箱／Trash
    - ゴミ箱から復元／Untrash
    - 削除／Delete
    - メタデータ更新／UpdateMetadata
    - ステータス変更／StatusChange
    - 文字起こし／SpeechToTextStatusChange
  - チャンク記録開始／StartChunkRecording
  - チャンク記録終了／EndChunkRecording
  - ストーリー作成／CreatePlanningMetadata
  - ストーリー更新／UpdatePlanningMetadata
  - ストーリー素材更新／UpdatePlanningMaterial
  - ストーリーアサイン更新／UpdatePlanningAssign
  - ストーリー削除／DeletePlanningMetadata
  - 転送ステータス／TransferStatus
- **createdOn** : イベントの発生日時
- **assets、bins、StartChunkRecordingまたはEndChunkRecording** : assetまたはbinの配列  
(assetsとbinsは混在しません。 )
  - assets[].id / bins[].id : assetまたはbinのid
  - assets[].name / bins[].name : assetまたはbinの名前
- **CreatePlanningMetadata、UpdatePlanningMetadata、UpdatePlanningMaterial、UpdatePlanningAssignまたはDeletePlanningMetadata** :
  - UpdatePlanningMetadata[].id : ストーリーのassignId
  - UpdatePlanningMetadata[].name : ストーリーのTitle

## FTPサーバーの設定

FTPサーバーに接続するための設定方法を説明します。

- 1 **【設定】画面で【FTPサーバー】ページを選択する。**
- 2 **+**（追加）ボタンをクリックする。  
ダイアログが表示されます。
- 3 **FTPサーバーの名前を入力して【保存】ボタンをクリックする。**
- 4 **追加したFTPサーバーを選択して、設定を行う。**

### ご注意

- 【転送先フォルダー】を指定した場合は、ルートディレクトリに指定したフォルダーが作成されます。
- 【トランスミッター名を使用する】にチェックを入れると、【転送先フォルダー】で指定したフォルダー内にTX名のフォルダーが作成されます。【転送先フォルダー】が空欄の場合は、ルートディレクトリ内にTX名のフォルダーが作成されます。
- 【トランスミッター名を使用する】は、カメラに設定されている転送先に対して、カメラからハイレゾクリップを直接転送する場合のみ有効な設定です。
- 【同時接続数】には、C3 Portalからファイルを転送する際の最大接続数を指定します。
- FTP over TLS接続を使用する場合は、【CA証明書 (PEM)】の【参照】ボタンを押してサーバー管理者が提供する証明書をインポートしてください。

- 5 **FTP設定の下にある**+**（追加）ボタンをクリックし、設定したFTPサーバーを使用するグループを追加する。**

### ご注意

- 1つのグループに対して最大4台のFTPサーバーを使用できます。

- 6 **【保存】ボタンをクリックする。**

## アップロードの設定

カムコーダーからアセットをアップロードする場所を設定します。

### 1 【設定】画面で【アップロード】ページを選択する。

### 2 【Proxyをアップロードする】にチェックを入れ、【転送先】のプルダウンリストから【C3 Portal】またはFTPサーバーの名前を選択する。

C3 Portalのアセット管理機能を使用する場合は【C3 Portal】を選択します。外部のFTPサーバーにアップロードする場合は、アップロード先のFTPサーバーを選択します。

#### ご注意

- 【C3 Portal】を選択した場合は、カムコーダーの【Upload Server】設定で以下の設定を行ってください。
  - － 【Upload Server】を【NCM: RX Server [CCM]】に設定し、【Default Server】を【On】にする。
  - － 【Auto upload】を【On】または【Chunk】（PXW-Z280/FX9のみ）に設定する。

### 3 【ビン名】を編集する。

#### ご注意

- 事前に設定されている内容を、必要に応じて変更してください。
- 設定を変更すると、すべてのアップロード先の【ビン名】に対し、設定した内容が反映されます。

### 4 【転送先】で【C3 Portal】を選択した場合は、【ビン名】に入力したビンのベースパスとサブパスを【保存場所】で指定する。

#### ご注意

- 【保存場所】では、以下のメタデータを選択できます。
  - － 【General】の場合は【Story Title】または【Upload Date】
  - － 【Location】の場合は【Transmitter Name】または【User】
- アセットをアップロードすると、指定したメタデータ値を使用してビンが作成されます。
- 推奨される設定は、“Upload Date”/“Story Title”/“Transmitter Name”です。
- プランニングスキーマのメタデータ値は、カメラからアップロードされたメタデータを使用します。カメラからの値が空白の場合、ビンは作成されません。

### 5 編集時のハイレゾ再リンク用にプロキシクリップのオーディオトラックを調整するかどうかを【音声重複】で選択する。

#### ヒント

- チャンククリップの場合と通常クリップの場合に分けて設定できます。
- この設定を【ON】にすると、プロキシクリップのオーディオチャンネル数をハイレゾファイルのチャンネル数に合わせるができます。

- 本機能を使用するには、PXW-Z280V/Z280TのVer 5.00以降、またはPXW-FX9V/FX9TのVer 3.00以降が必要です。

**6** **【保存】 ボタンをクリックする。**

G-104-100-08(1) Copyright 2021 Sony Corporation

## クラウド収録の設定

ストリーミングをクラウド上で収録するための設定方法を説明します。

① 【設定】画面で【クラウド収録】ページを選択する。

② 【ビン名】を編集する。

### ご注意

- 事前に設定されている内容を、必要に応じて変更してください。
- 設定を変更すると、すべてのクラウド収録に対し、設定した内容が反映されます。

③ 【ビン名】に入力したビンのベースパスとサブパスを【保存場所】で指定する。

### ご注意

- 【保存場所】では、以下のメタデータを選択できます。
  - 【Transmitter Name】
  - 【Upload Date】
  - 【Story Title】
- クラウド収録を開始すると、指定したメタデータ値を使用してビンが作成されます。
- 推奨される設定は、“Upload Date”/“Transmitter Name”です。

④ ストリーミングの開始時に自動的に記録を開始するには、【ストリーミング時の自動収録】で【ON】を選択する。

⑤ 【ストリーミング時の自動収録】で【OFF】を選択した場合は、録画を開始したときに使用するプリロール時間を【プリロール (秒)】で設定する。

⑥ 【インターレース/プログレッシブ】を選択する。

- 【入力ソースに従う】を選択すると、入力信号に従って記録されます。
- 【プログレッシブ変換】を選択すると、入力信号に関係なく、プログレッシブフォーマットで記録されます。

### ご注意

- プログレッシブへの変換は画質に影響することがあります。インターレースのストリームをプログレッシブに変換して記録する際、実際の運用で使用する前にテストを実施し、画質を確認してください。

⑦ 【TCモード】を選択する。

- 【プリセット (00:00:00.00)】を選択すると、「00:00:00.00」に設定されます。
- 【オリジナル (ストリーミングに重畳されたTC)】を選択すると、ストリーミング信号のタイムコードに設定されます。



8 [保存] ボタンをクリックする。

G-104-100-08(1) Copyright 2021 Sony Corporation

## 位置情報の設定

カメラやアセットの位置情報に関する設定を行う方法を説明します。

### ご注意

- 位置情報を使用するには、カムコーダーのGPS設定を有効にする必要があります。詳しくは、カムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

### 1 「設定」画面で「位置情報」ページを選択する。

### 2 位置情報の設定を行う。

- 「Map表示 / GPS (Live)」：カムコーダーの位置情報を「ライブ」画面のマップと「GPS」タブに表示するかどうかを選択します。
- 「GPS情報の記録 (Asset)」：カムコーダーから本サービスにアップロードされたアセットの位置情報を、本サービス側で保存するかどうかを選択します。

### ご注意

- GPS情報の記録に対応していないカムコーダーがあります。詳しくは、お使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

### 3 「保存」ボタンをクリックする。

## Creators' App for enterpriseの設定

モバイルApp用の設定をします。

- 1 【設定】画面で【Creators' App for enterprise】ページを選択する。
- 2 【保存データの自動削除】でモバイルAppがインストールされているスマートフォンの挙動を設定する。
  - 【ON】を選択すると、モバイルAppからC3 Portalにクリップを転送後、スマートフォン内のクリップが自動で削除されます。
  - 【OFF】を選択すると、モバイルAppからC3 Portalにクリップを転送後、スマートフォン内のクリップは削除されません。
  - 【Creators' App for enterpriseの設定に従う】を選択すると、各モバイルAppの設定に従います。


### ご注意

- モバイルAppにログインした際、この設定がスマートフォンに反映されます。

- 3 【保存】ボタンをクリックする。

## スマートフォンを管理するには

Camera Operator権限を持つユーザーがモバイルAppでログインすると、使用しているスマートフォンとモバイルAppの情報が自動的にリストに追加されます。C3 Portal上で追加することはできません。

リスト上のスマートフォンを削除したい場合には、削除するスマートフォンにチェックを入れ、（削除）ボタンをクリックします。

## ライセンス

C3 Portalの各機能を使用するにあたっては、別途ライセンスが必要になることがあります。

### Deviceライセンス

カムコーダーやモバイルAppをC3 Portalに接続するための基本的なライセンスです。カムコーダーやモバイルAppの同時接続数を管理します。

### 拡張ライセンス1（字幕）

字幕イベント機能を使用するために必要なライセンスです。

### 拡張ライセンス2（MMLT）

カムコーダーから複数のスマートフォンにインストールされたモバイルAppを経由して高速転送を行うために必要なライセンスです。

### データ転送量の追加

標準で付属しているデータ転送量を超えた場合でも、追加でデータ転送を行うことができます。

### ストレージ使用量の追加

標準で付属しているストレージ使用量を超えた場合でも、追加でストレージを使用できます。

**操作編へ**

---

C3 Portalの操作方法については、ヘルプガイド（操作編）をご覧ください。

URL : <https://helpguide.sony.net/pro/c3p/v1/ja/index.html>